



インターネットでの情報提供	
提供予定日	10月27日

平成23年10月26日 県政記者クラブ配布資料			
担当課・機関	担 当	担 当 者	電話番号
特別支援教育課	自立支援担当	土本 昌宏	内線3557
岐阜大学応用生物科学部教授		大場 伸哉	058-293-2851

岐阜大学応用生物科学部と県内特別支援学校との連携に係る 岐阜県教育委員会と同学部の覚書書の締結について

岐阜県教育委員会では、特別支援学校生徒の就労支援の充実・強化の取組の一つとして、今年4月に開校した可茂特別支援学校に隣接する岐阜大学応用生物科学部の美濃加茂農場等を活用した岐阜大学応用生物科学部と県内特別支援学校との連携を推進するため、次のとおり覚書の締結式を行いますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 平成23年11月1日（火） 13時30分～14時00分
- 2 場 所 教育委員会室（岐阜県庁11階）
- 3 主な出席者 [岐阜大学応用生物科学部]
・学部長 金丸 義敬（かなまる よしひろ）
・教 授 大場 伸哉（おおば しんや）
[岐阜県教育委員会]
・教育長 松川 禮子（まつかわ れいこ）他
- 4 次 第 ①覚書書の調印、挨拶（学部長、教育長）
②関連説明（岐阜大学の農場の概要、特別支援学校の概要など）
③写真撮影

5 覚書の内容

（1）目的

障がいのある生徒の自立と社会参加及び共生社会、協働社会の実現に関して、相互の機能を活用し実践的な連携協力を行い、教育・福祉の充実発展に寄与する。

（2）連携協力内容

- ①岐阜県内特別支援学校が行う農業体験学習（生産物の収穫、餌やり等）
- ②岐阜県内特別支援学校の生徒・教員に対する農業の技術指導
- ③岐阜県立可茂特別支援学校が行う作業学習における岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センターの美濃加茂農場利用
- ④岐阜大学応用生物科学部の学生と特別支援学校の児童生徒との交流及び共同学習
- ⑤前各号のほか、障がいのある生徒の自立、社会参加に関して必要と認められること

【参考】

岐阜県と岐阜大学との連携については、平成20年3月に「岐阜県と国立大学法人岐阜大学との連携に関する協定」が岐阜県知事と国立大学法人岐阜大学長との間で締結されています。

6 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センターの概要

- 「柳戸農場 (8.66ha)」「柳戸試験林 (0.72ha)」「美濃加茂農場 (9.84ha)」「位山演習林 (554.9ha)」の4ヵ所で構成されており、作物、花卉（かき）、野菜及び果樹の栽培や、乳牛と産卵鶏の飼育と管理（柳戸農場）、肉牛の飼育と管理（美濃加茂農場）、森林の管理（柳戸試験林・位山演習林）を行っています。
- 「美濃加茂農場」の概要は次のとおりです。
 - ・所在地 : 美濃加茂市牧野1918-1
 - ・面積 : 9.84ha
 - ・施設の特徴 : 農地では牧草生産を行いながら、繁殖と肥育の一貫生産型の肉牛飼養を実施

[岐阜大学応用生物科学部の障がい者雇用の取り組み]

岐阜大学応用科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センターでは、知的障がい者の雇用が進んでいないことを踏まえ、平成20年度以降、特別支援学校からインターンシップ生を受け入れ、これまでに4名の特別支援学校生徒（知的障がい）を雇用しています。

また、平成22年4月には岐阜市教育委員会と連携協力に関する覚書を締結し、岐阜特別支援学校高等部生徒が、週1回作業学習を柳戸農場で実施しています。